

3 障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業

(1) 職場実習の実施状況

身体障害（2名）、知的障害（13名）、精神障害（8名）のある方23名が市役所の職場で、それぞれ約2週間の職場実習を行いました。

(2) チャレンジ雇用の実施状況

上記の職場実習を受けた方の中から2名を京都市の臨時的任用職員として採用しました。
実施職場：保健福祉局障害保健福祉推進室（1名）、上京区役所保健福祉センター（1名）

4 障害者雇用促進アドバイザー派遣等支援事業

「障害者職域開発推進部会」の有識者等からの意見を踏まえ、以下の事業者を補助事業者に指定し、障害者雇用拡大の取組を支援しました。

補助事業者名	事業実績概要
株式会社 種田	京都の伝統産業「京鹿の子絞」の「くくり」作業（本事業による雇用拡大1名（発達）〔30.3末時点〕）

5 はあと・フレンズ・プロジェクト推進事業

(1) 年間売上金額

項目	年間売上金額	内訳	
計	10,422千円	(店舗) 8,091千円	(外注等) 2,331千円

(2) 出店販売の風景



バディウォーク@京都 2017



京のてづくりマルシェ



左京区役所はあとふるコーナー

〔営業時間〕11:00～19:30 〔定休日〕毎週水曜日、年末年始
〔所在地〕京都市中京区新京極通四条上ル中中之町 565-15
〔TEL〕075-221-8033 〔FAX〕075-221-8118
〔HP〕<http://kyoto-heartfriends.com/>
〔Email〕heart-friends@cap.ocn.ne.jp
〔twitter〕https://twitter.com/heart_friends
〔Facebook〕<https://ja-jp.facebook.com/heartfriendsstore/>
〔Instagram〕https://www.instagram.com/heart_friends_store/



6 京都市障害者就労支援推進会議ウェブサイト「はたらきまひよ」

障害者就労支援プロモート事業における各セミナー・見学会等の開催情報や、障害者就労支援事業所等の情報を提供しています。

URL：<http://www.hatarakimahyo.jp/>



QRコードからも閲覧できます。

京都市障害者就労支援推進会議通信 第10号 平成30年8月発行
事務局：京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室
〒604-8006 京都市中京区河原町通御池下下丸屋町394番地Y・J・Kビル3階
TEL 075-222-4161 FAX 075-251-2940

京都市印刷物第304515号

京都市障害者就労支援推進会議通信

本市では、国、京都府の関係行政から民間まで、企業、労働、福祉、教育等の各分野の関係機関及び団体等と連携して、障害のある方が生きがいを持って働くことができるよう、それぞれのライフステージに応じて、切れ目なく支援するための協働機構「京都市障害者就労支援推進会議」（平成21年8月設立）を中心に、「一般就労の促進」「定着支援の充実」「福祉的就労の底上げ」に係る施策を推進しています。

※「第5期京都市障害福祉計画」（平成30年3月策定）における成果目標

項目	目標値
一般就労への移行者数	平成32年度末時点で243人以上(平成28年度実績の1.5倍以上)
就労定着支援による職場定着率	就労定着支援による支援開始から1年後で80%以上

【参考】福祉的就労から一般就労への移行者数の実績（過去5年間）

年度	25	26	27	28	29
移行者数	121人	110人	147人	162人	232人

平成30年度 主な取組と予算

1 伝福連携担い手育成支援事業【新規】

5,000千円

障害のある方の職域を拡大し、伝統産業分野における後継者確保・技術継承や障害のある方の就労支援・雇用創出を図るため、障害のある方の雇用又は市内の障害者就労支援事業所への業務の発注に意欲がある伝統産業事業者に対して、障害者就労促進アドバイザーの派遣や障害のある方を雇用する際に必要な備品購入に要する費用の補助を行っています。

※平成30年度補助事業者について

補助事業者名	事業概要
株式会社 種田	京鹿の子絞「くくり」作業の工程保存（本事業による市内福祉施設への業務委託）
京鹿の子絞振興協同組合	京鹿の子絞「糸入れ」作業の工程保存（本事業による市内福祉施設への業務委託）

2 障害者職場定着支援等推進センター事業

21,740千円

障害のある方の長期就労を支援することを目的に、平成26年4月、「京都市障害者職場定着支援等推進センター」（北山ふれあいセンター内）を設置しました。また、平成29年4月には、本センターの南部分室（京都テルサ内）を新たに設置したうえで、両センターに精神障害者対応の専門職員を1名ずつ配置し、就労に関する相談、企業訪問等による状況把握、仲間づくり支援（交流サロン「ぼろぼろ」）などを行い、障害のある方の自立と社会参加を推進しています。



交流サロン「ぼろぼろ」

3 障害者就労支援プロモート事業 12,060千円

障害保健福祉推進室に「障害者就労支援プロモーター」を2名配置し、障害のある方や障害者就労支援事業所の支援者を対象としたスキルアップ研修や、企業（人事担当者等）を対象とした企業見学会、セミナーなどを実施しています。



障害者雇用企業見学会



障害者雇用企業勉強会
「精神障害や発達障害のある大学生の就労支援について学ぶ。」



スキルアップ研修会「支援者の能力開発講座」

4 障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業 2,838千円

将来の企業就職に向けたステップアップとするため、障害者就労支援事業所等と連携し、一般就労を希望する障害のある方を対象に、京都市役所の職場（局、区役所、保育所など）において、職場実習（約2週間）やチャレンジ雇用（臨時的任用職員としての雇用1～2箇月）を実施しています。

実習及び雇用の期間中は、実習コーディネーター（ジョブコーチ等）が業務の切り出しや実習評価などを行います。

【職場実習】 25名（予定）7月以降、順次実施

【チャレンジ雇用】 2名（予定） ※ 職場実習経験者の中から選考



庁内の文書交換作業の様子



PCを使った入力作業の様子

5 障害者雇用促進アドバイザー派遣等支援事業 4,780千円

障害者雇用に意欲があり、具体的に雇用を進めるに当たり、職域開発や特例子会社設立等のノウハウを必要としている企業等に対して、障害者雇用促進アドバイザーの派遣や、障害のある方を雇用する際に必要な備品購入に要する費用の補助（上限2,000千円）を行っています。



京鹿の子絞り職人への就職を目指す絞り染め体験会
絞り職人としての採用選考を兼ねて、体験会を行いました！



6 はあと・フレンズ・プロジェクト推進事業 18,090千円

工賃水準の向上をはじめとする福祉的就労の底上げを図るため、平成23年10月、市内施設のほっとはあと製品を取り扱うアンテナショップ「はあと・フレンズ・ストア」を開設し、製品開発、生産・販売の新しいモデル事業づくりや販路拡大に取り組んでいます。この取組を通じて、障害のある方の自立と社会参加を促進するとともに、企業や市民に対する障害者福祉への理解促進や将来の雇用機会の創出を図ります。

はあと・フレンズ・ストア



四条河原町花遊小路商店街内



ほっとはあと製品の一例

平成29年度 主な取組の実績

1 障害者職場定着支援等推進センター事業

- (1) 相談・支援件数：24,903件
- (2) 就職後1年経過時点の定着率：74.8%
- (3) 交流サロン参加人数：延べ403人（うち、南部分室53名）

2 障害者就労支援プロモート事業

- (1) 京都市障害者就労支援推進会議の開催内容

開催日 29.7.21	報告事項	京都市障害者就労支援推進会議 部会等の取組状況について 京都市障害福祉計画における福祉施設から一般就労への移行について 京都市障害者就労支援推進事業について
	協議事項	障害者雇用の取組事例を交えた意見交換（発表）株式会社 高島屋

【部会】

精神障害者就労支援システム検討部会	精神障害者就労支援システムの検討 ※ その他、出張講座を3回実施	2回開催
発達障害者支援連携協議会・就労支援連絡部会	発達障害者の就労支援について	2回開催
巣立ちのネットワーク	総合支援学校 PTA 職場開拓の取組等	4回開催
	第24回雇用フォーラムの開催	29.11.8
デュアルシステム推進ネットワーク会議	長期企業実習や職業教育のあり方の検討	2回開催
障害者職域開発推進部会	アドバイザー派遣等支援事業審査会の実施	1回開催
はあと・フレンズ・プロジェクト推進部会	事業の進捗状況及び計画等	1回開催

- (2) 障害者就労支援スキルアップ研修、企業見学会及びセミナーの開催

名称	対象	開催回数	参加者数
障害者就労支援スキルアップ研修	障害福祉施設の利用者及び支援員	18回	延べ362人
企業見学会・セミナー	企業の人事担当者等	8回	延べ334人